

回 覧

町 民 各 位

一宮町長 馬淵 昌也

令和元年 9月 4日

地下水汚染対策の経過報告について

町では、毎年地下水汚染対策に取り組んでおり、勘定クリーニング店周辺の汚染状況や中村工場跡地の調査結果と今後の対応についてお知らせします。

汚染対策の効果や順調に汚染物質の濃度が減少している経過を皆様にお知らせすることと致しました。

記

1 勘定クリーニング店（3区）

平成12年度に、地下水汚染物質テトラクロロエチレンが3.78 mg/Lの高濃度で検出されましたが、汚染除去対策実施の結果、平成30年度は0.04 mg/Lとなり濃度は低くなりました。（図-1 参照）

なお、現在の地下水環境基準値は0.01mg/Lです。

地下水汚染域の濃度は変動を伴いながら徐々に低下していますが、今後も地下水汚染の状態を注意深く観測しながら、除去対策を継続していきます。

図-2は、揚水処理を実施している帯水層の汚染の広がりを示しています。

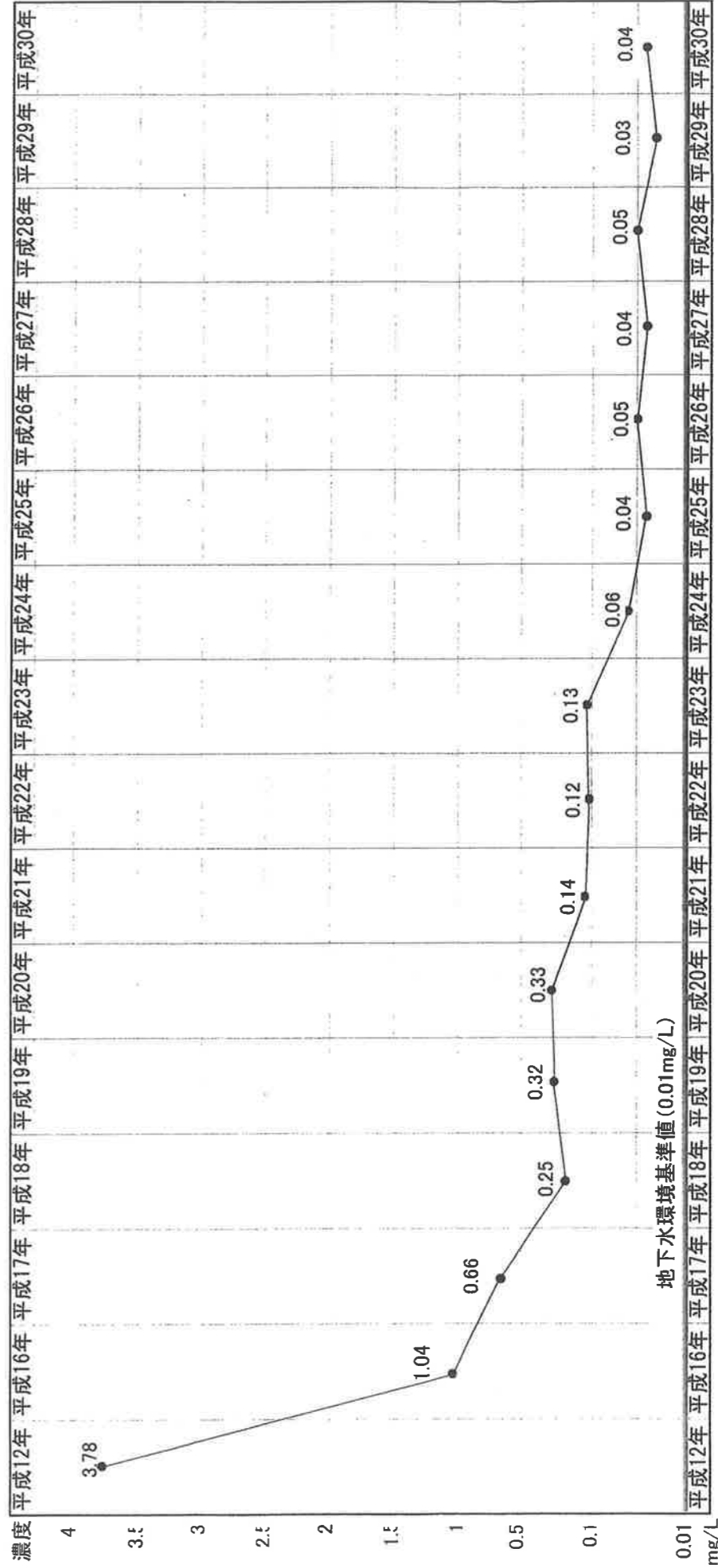
2 中村工場（7区-2）

平成13年度に、地下水汚染物質トリクロロエチレンが0.038mg/Lの最高濃度で検出されましたが、平成21年度の汚染機構説明調査以降、トリクロロエチレンは環境基準以下となったものの、トリクロロエチレンと同じく有害性のあるシス-1,2-ジクロロエチレンが基準をわずかに超過しているため、今後も地下水汚染状況を観測していきます。

3 平成30年度地下水汚染防止対策事業	総事業費	4,525,200円
	内訳 県の負担額	1,393,000円
	町の負担額	3,132,200円

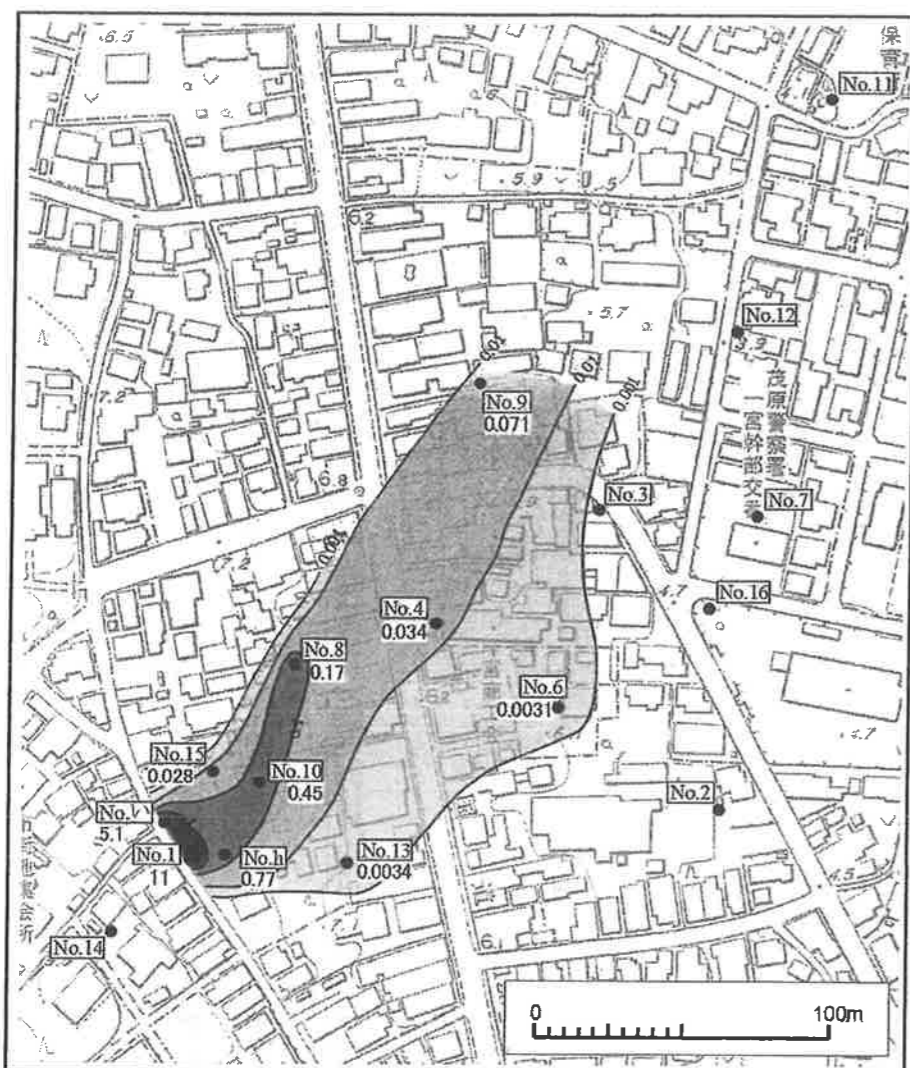
問い合わせ先
都市環境課環境係
電話 42-1430

図-1 テトラクロロエチレンの濃度変化

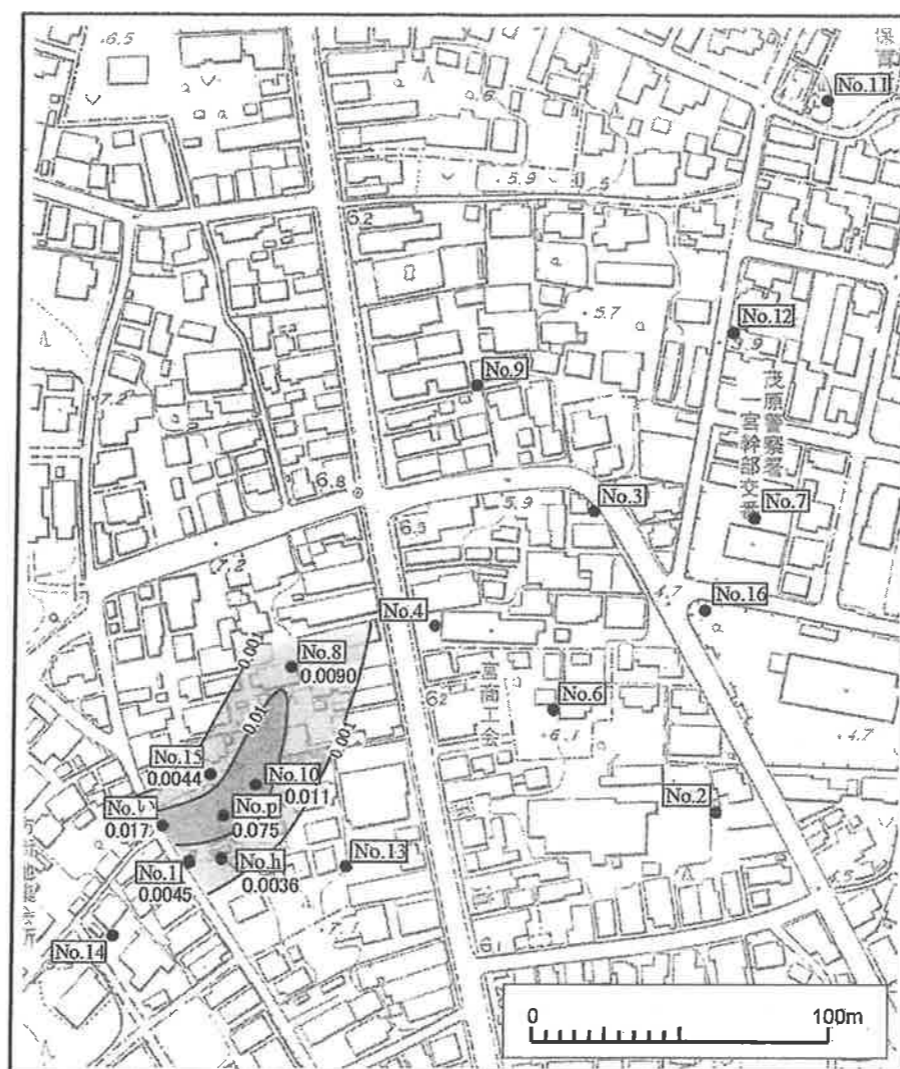


注記

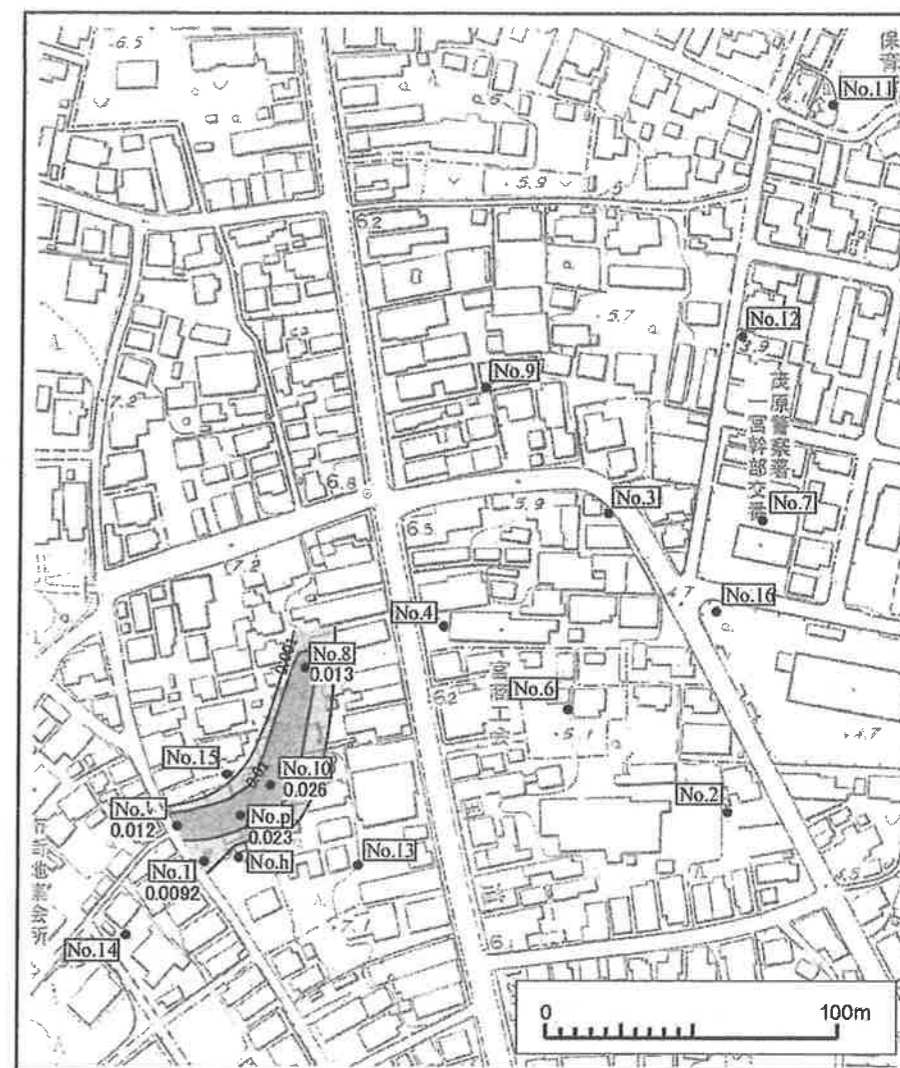
- ・勘定クリーニング店の処理装置より汲み上げた地下水の汚染状況の推移を示したグラフです。
- ・各年、一時的な最高確認濃度で作成しています。
- ・平成12年に最高濃度3.78mg/Lを確認しましたが、平成30年は最高濃度0.04mg/Lとなり、わずかな増減はありますが確実に汚染物質は減少しています。
- ・地下水環境基準は0.01mg/Lです。



平成12年5月 (観測井水質検査より：PID-GC分析)
(除去対策開始時)



平成23年3月 (観測井水質検査より：PID-GC分析)



平成31年3月 (観測井水質検査より：PID-GC分析)

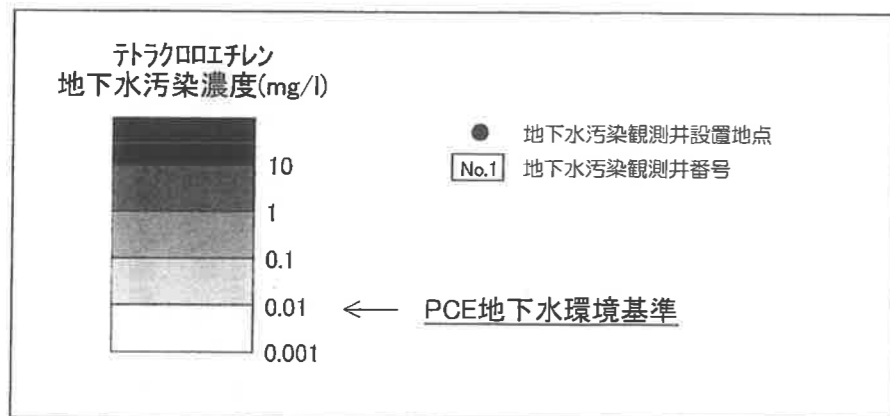


図-2 トリクロロエチレンによって汚染された地下水の分布
(民家井および観測井水質検査結果より)